

みずほCustomer Desk Report 2017/07/21号(As of 2017/07/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.91 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.88	1.1529	128.95	0.9548	1.3031	0.7959
SYD-NY High	112.42	1.1659	130.26	0.9638	1.3031	0.7992
SYD-NY Low	111.48	1.1479	128.80	0.9494	1.2933	0.7898
NY 5:00 PM	111.91	1.1630	130.15	0.9513	1.2976	0.7959
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.635/8.005		△25RR	1.155	Yen Call Over	

NY DOW	21,611.78	▲ 28.97	債券市場	日本2年債	-0.1070	0.3bp
NASDAQ	6,390.00	4.96		日本10年債	0.0780	0.3bp
S&P	2,473.45	▲ 0.38		米国2年債	1.3521	▲0.4bp
日経平均	20,144.59	123.73		米国5年債	1.8180	▲0.7bp
TOPIX	1,633.01	11.14		米国10年債	2.2589	▲1.1bp
シカゴ日経先物	20,110.00	75.00	為替市況	独10年債	0.5300	▲1.2bp
ロンドンFT	7,487.87	56.96		英10年債	1.2050	1.3bp
DAX	12,447.25	▲4.80		豪10年債	2.7370	1.4bp
ハンセン指数	26,740.21	68.05		USD/CNH	6.7561	▲0.0033
上海総合	3,244.87	13.89		ドルインデックス	94.31	▲0.47
USDJPY 3M Vol	8.56	▲0.02%	商品市況	CRB指数	178.398	▲0.26
USDJPY 6M Vol	8.84	▲0.03%		NY金	1,252.10	3.30
EURJPY 3M Vol	9.38	0.03%		WTI	46.92	▲0.40
EURJPY 6M Vol	9.65	▲0.00%		Dubai Spot	48.33	0.59

東京	朝方に発表された本邦6月貿易収支は2ヶ月ぶりの黒字となったものの、市場の反応は限定的となり、東京時間のドル円は111.88レベルでオープン。日経平均株価が堅調推移となったことや豪6月雇用統計の底堅い結果に豪ドル円が上昇したこと等を背景にドル円は一時112.07まで上昇。その後、日銀金融政策決定会合において金融政策の現状維持が決定、同時に発表された展望レポートでは物価見通しが下方修正された上、物価目標の達成時期が「2019年頃」に先送りされた。ドル円は一時111.89をつけるもすぐに112円台前半まで上昇した。その後は黒田日銀総裁の会見を控えた様子見ムードから方向感に乏しい推移となり112.14レベルで海外へ渡った。東京15:30)
ロンドン	欧州時間のドル円は午後のECB金融政策発表およびドラギECB総裁の記者会見を控え、112円台前半で小動き、112.14レベルでオープン。ロンドン午前8時にロンドン時間安値となる112.01まで下落したものの、その後すぐに反発。東京時間から見られたドルの調整買い戻しの動きを受け112.42まで上昇した後、小幅反落し、112.23レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.30ちょうど近辺で荒い値動きとなり、1.29台半ばまで下落する展開となった。朝方は1.3020レベルでオープン。欧州時間序盤に前日の安値1.3011を割り込むと1.29台後半まで急落。英6月小売売上高が前月比+0.9%と市場予想(同+0.5%)より強い結果となると再び1.30台前半まで反発。しかし、その後はポンドの上値が重くなり、ドルの調整買い戻しの流れも相俟って、ポンドドルは1.2933まで下落し、1.2947レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は111円台後半から高値112.42まで上昇し、112.23レベルでNYオープン。朝方発表された米新規失業保険申請件数は予想比強めの結果となったが、季節要因との見方も強くドル円の反応は限定的。ECB理事会後のドラギ総裁の訪米発言に対して、対ユーロで、ドル円共に売り込まれたことからドル円は小動きに終始した。しかし、その後「モラー特別捜査官、トランプ氏のビジネスに捜査網を広げる」とのヘッドラインを受けて、米大統領選挙問題などを巡るトランプ大統領とロシアの関係の不透明感が強まり、米金利低下と共にドル円は急落し、海外時間安値111.77を下げこの日の安値となる111.48まで下落。それでも、90日移動平均が位置する水準を明確に下抜けることができなかったことから、ショートカバーが強まり112.03まで反発。トランプ政権の不透明感から金利も再び低下する中、積極的に上値を追っていく展開とはならず、111.91レベルでクロスした。一方ユーロドルは上値の重い推移が続き1.1484レベルでオープン。早朝に結果の公表されたECB理事会では金融政策現状維持となったものの、その後行われたドラギ総裁の会見で「ユーロ圏経済の回復はついに健全なものとなった」「緩和縮小は秋に議論」との訪米発言が伝わるとユーロが急騰。上述のトランプ大統領への捜査関連のヘッドラインを受けてのドル売りも相俟ってユーロドルは年初来高値となる1.1659まで上昇。その後も1.16台前半での底堅い推移が続き、1.1630レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 森谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月20日	08:50	日 貿易収支	6月 ¥439.9B	¥488.0B
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	6月 14.0K/5.6%	15.0K/5.6%
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- -0.100%	-0.100%
	15:30	日 黒田日銀総裁 記者会見	- -	-
	17:30	英 小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	6月 0.9%/3.0%	0.5%/2.5%
	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.000%	0.000%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	- -	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 233K	245K
	23:00	欧 消費者信頼感	6月 -1.7	-1.2

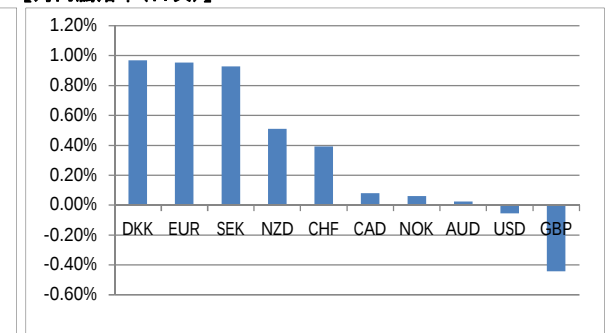
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月21日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	6月 -0.1%/1.1%	0.1%/1.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.40-112.40	1.1560-1.1680	129.50-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は下落する展開。ECB理事会では市場予想通り金融政策は据え置かれたが、ドラギECB総裁の「ユーロ圏経済の回復はついに健全なものとなった」との発言等を受けてユーロは対ドル、対円で上昇するもドル円の反応は目立ったものとはならなかった。その後、「モラー特別捜査官、トランプ氏のビジネスに捜査網を広げる」とのヘッドラインを受けて111.48まで下落。その後は下げ止まり反発に転じ、111円台後半でクロスした。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。米国の経済指標に対する警戒感が意識されている上、昨日のトランプ大統領関連のヘッドラインも重なりドルを積極的に買いづらい状況であると言えるだろう。